

## ■目標

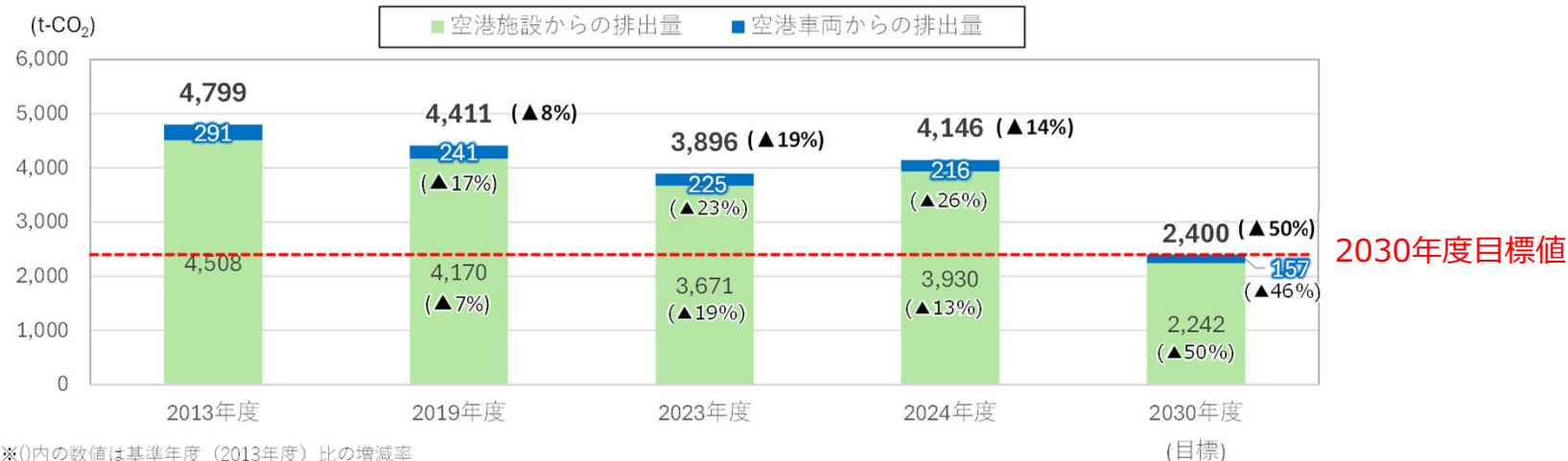
2030年度 CO<sub>2</sub>排出量 2013年度比 50%削減

2050年度 カーボンニュートラル

## ■取組状況

- 空港の施設**：航空灯火LED化により、CO<sub>2</sub>排出量は推定7t/年削減。（2013年度比0.1%相当）  
 施設照明LED化により、CO<sub>2</sub>排出量は推定17t-CO<sub>2</sub>/年削減。（2013年度比0.4%相当）  
 環境価値の購入により、CO<sub>2</sub>排出量は推定131t-CO<sub>2</sub>/年削減。（2013年度比3%相当）
- 空港車両**：空港車両のHV化により、CO<sub>2</sub>排出量は推定9t-CO<sub>2</sub>/年削減。（2013年度比0.2%相当）

区分	CO <sub>2</sub> 排出量【t-CO <sub>2</sub> /年】				
	2013年度	2019年度	2023年度	2024年度	2030年度 (目標)
空港の施設からの排出量	4,508	4,170	3,671	3,930	2,242
空港車両からの排出量	291	241	225	216	157
<b>計</b>	<b>4,799</b>	<b>4,411</b>	<b>3,896</b>	<b>4,146</b>	<b>2,400</b>



※新潟空港脱炭素化推進協議会構成員からの報告をもとに作成

## ■CO<sub>2</sub>排出量の増減理由

- 空港の施設からのCO<sub>2</sub>排出量は主に電力排出係数の影響により増減している。2023年度以降は環境価値の購入がCO<sub>2</sub>排出量の削減に寄与した。
- 空港車両からのCO<sub>2</sub>排出量はコロナ禍からの旅客需要の回復に伴い増加傾向にあるが、2024年度はHV車両の導入等がCO<sub>2</sub>排出量の削減に寄与したと考えられる。